

代表者会議【当日資料2-1】

小学校通常級の児童が情緒面・発達面の相談や支援に繋がるまでの流れ（案）

<保護者>

- ・学校や児童クラブでの生活に馴染めていない ・授業についていけない
- ・友達とのトラブルが多い ・家庭での言動が荒くなっている など

～教育の仕組みの中で受けられる相談・支援があります～

～所属の小学校で受けられる支援～

◎まずは担任の先生にご相談していただくこととなりますが、その他にも以下の支援の仕組みがあります。

＝相談の入口＝

- ・教育相談コーディネーター
生徒や保護者のニーズを把握し、校内の連絡調整や関係機関等との連絡調整を行う。
- ・養護教諭
いわゆる保健室の先生。生徒の心身の健康に関する相談に乗り、必要な対応を講じる。
- ・心の教育相談員
生徒が気軽に相談できる第三的な相談員。各校に配置。

＝先の支援＝

- ・スクールカウンセラー（SC）
本人の様子や必要な支援について面談による相談を通して助言等を行う。本人との面談を行う場合もある。
- ・スクールソーシャルワーカー（SSW）
児童の支援に必要なネットワーク作りなどを行う。
- ・巡回相談
心理士による所属学校への巡回を通し、本人の学校での様子を観察し、必要な対応の助言等を行う。

～その他の教育分野の相談の仕組み～

◎以下の教室は所属学校との連携が必要となりますので、まずは所属の学校にご相談ください。

- ・そだちの教室
小集団の中でコミュニケーションの力を育てていく
- ・ことばの教室
ことばの発達を個別指導で支援する
- ・あすなろ教室
何らかの理由で学校に通えない児童が勉強その他の活動をして過ごせる学校以外の過ごし場所

◎以下2か所については直接相談のご連絡をすることができます。

- ・青少年教育相談室 ☎ 0467-86-9963
心理相談員等による面談などを実施し、助言等を行う。本人との面談も行える。
- ・茅ヶ崎支援学校教育相談 ☎ 0467-57-5375
電話や面談による相談を実施。児童クラブへの巡回なども行う。

～放課後等デイサービス等福祉サービスを利用したい場合～

<障がい福祉課> ☎ 0467-81-7160

- ・福祉サービス利用のための支給決定の判断。受給者証の発行。
※障害者手帳を所持していることや発達検査などで支援の必要性が示されているなど、支給の根拠が必要となります。
- ・福祉サービスについて保護者へ情報提供。
- ・事業所利用にあたって利用支援が必要なケースについては相談支援事業所に繋ぐ。

<委託相談支援事業所> ※一覧右⇒

- ・放課後等デイサービス他、福祉サービスの利用調整
※利用開始後の事業所や学校との連携や保護者の随時相談も受ける。
- ※サービスに繋がらないケースの継続的な相談も受ける。

- 🌸 相談支援センターつみき
松が丘2-8-51 ☎ 0467-84-5220
- 🌸 生活相談室とれいん
元町4-26-102 ☎ 0467-84-0562
- 🌸 障害者生活支援センター
新栄町13-44-2階 ☎ 0467-85-5520
- 🌸 地域生活支援センター元町の家
元町16-3-2階 ☎ 0467-82-1685